

当認知症疾患医療センターの活動内容

4つの主な活動を紹介



① 受診相談、予約受付

患者さんご本人やご家族の方、担当のケアマネジャーさんから
の受診の相談や予約を受け付けています。

父が認知症かもしれせん...



話を詳しく聞かせて下さい。



待つ時間が長いと父が怒るかもしれせん...



待ち時間対策を提案



情報収集

家での様子は...

父は要介護2です

必要に応じて他機関と連携

② 後志認知症疾患医療連携協議会の開催

介護と医療の連携を強化するため、後志認知症疾患医療連携協議会という後志管内の関係機関との会議の場を定期的に設けています。



↑連携協議会in小樽市立病院
皆さん真剣な表情です。

③ 画像検査、認知機能検査の施行

認知症かどうか、どのような認知症なのかを判別するために各種検査を行っています。かかりつけ医の依頼を受けて当院で画像検査を行うこともあります。

● 画像検査

- ・MRI SPECT（スペクト）・MIBG心筋シンチ
- ・ドパミントランスポーターシンチグラフィ
- 脳や心臓の筋肉の写真をとって検査をします。



怖くないですよ

● 認知機能検査

- ・MMSE・HDS-R（ほか）
- 主に質問を通して記憶力などの検査をします。



④ 広報活動

皆さんに認知症について知ってもらうため、講演会の企画などの取り組みを行っています。また、「白樺通信」という広報紙を発行し、当センターの活動やお役立ち情報を発信しています。



← 神恵内村の介護予防教室で講演しました。
多くの方にご来場いただきました！



講演中の高丸センター長を撮影→

